

【島のくらしの情報】

浦戸諸島（桂島・野々島・寒風沢島・朴島）

| | |
|------------------------------|---|
| <p>①仕事（収入）の状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本土に最短30分弱で通勤可能な位置にあるため、本土の勤務先への通勤も可能です。 ・長い歴史を持つ浅海養殖業を中心とした産業があります。 ・寒風沢島では休耕田を活用し、農業の再開があります。 |
| <p>②住居の状況（貸家、空き家など）</p> | <p>—</p> |
| <p>③医療環境の状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・浦戸諸島総合開発センターに診療所を併設し、住民の生命・健康を守っています。 ・急患は、救急艇を配備して本土側の病院へ搬送しています。 |
| <p>④福祉環境の状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・島外事業者の在宅介護サービスを利用できます。市では、サービス事業者の訪問介護に際し、海上運賃の費用の一部補助を実施しており、本土と変わらない介護サービスを受けることができます。 |
| <p>⑤教育環境の状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・浦戸諸島の児童・生徒は野々島にある小中併設校に通学しています。特認校制度を導入しており、学区外の本土側からも児童生徒が通っています。 ・浦戸諸島に高校はなく、本土側の高校へ通学しています。市では、通学支援事業を行っており、海上運賃の一部を補助しています。 |
| <p>⑥上下水道・電気・ガスの状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・島内の水道利用状況（普及率）は100%です。 ・ガスはプロパンガス。電気は本土側から送電線がひかれています。 |
| <p>⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・マリンゲート塩釜から塩竈市営汽船が運航しています。（最寄の駅はJR仙石線本塩釜駅） 塩竈～桂島～野々島～石浜～寒風沢島～朴島（1日6～7便、片道500円～600円、所要時間23分～52分） |

| | |
|-------------------------------|--|
| ⑧島内の交通手段（費用、便数など） | 島間の移動は無料の渡船があります。 |
| ⑨買い物場所・物価の状況 | 本土側が基本。本土のスーパーなどでは、宅配も対応しています。 |
| ⑩これまでの移住実績 | 地域おこし協力隊として、浦戸桂島へ合計4名が移住。（のり養殖） |
| ⑪移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況 | 主だった制度はございません。 将来の島の担い手として、漁業等に従事し島へ定住を希望する方に対して、地域おこし協力隊制度と、本市の浦戸ステーションを活用し、短期のしま体験から始まり、島を知っていただき、移住を目指す取り組みを行っております。 |
| ⑫移住にあたっての支援の状況 | 浦戸ステーションを活用した、漁業等に従事し島へ定住を希望する方への支援を行っています。 |
| ⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報 | 島民の人たちは、互いに協力しあいながら地域の絆を守っています。地区の行事等に積極的に参加し、協力できることが必要となります。 |

【島のくらしの情報】

大島（おおしま）

| | |
|------------------|--|
| ①仕事（収入）の状況 | ・島には、水産業をはじめとした第一次産業従事者と観光などのサービス業従事者が多くいます。また、多くの方が気仙沼本土側で仕事をしています。 |
| ②住居の状況（貸家、空き家など） | ・島内での貸家・空き家については、震災の影響で少ない状況です。 ・なお、気仙沼市では空き家バンクを開始し、「気仙沼市移住・定住支援センター」を通じて空き家情報を提供しています。 http://www.minato-kesenuma.com/ |

| | |
|-----------------------------|---|
| ③医療環境の状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・島に診療所と歯科医院がそれぞれ1軒ずつあり、医師1人、看護師2人、歯科医師1人が常勤し、住民の健康を守っています。 ・急患は臨時輸送船などで本土の総合病院へ運んでいます。 ・妊産婦は、本土の病院での検診・出産が必要となります。 |
| ④福祉環境の状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険施設が2ヶ所あり、デイサービスや短期入所サービスを提供しています。 |
| ⑤教育環境の状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・大島小学校、大島中学校があります。 ●お問い合わせ：大島小学校 電話0226-28-2604 大島中学校 電話0226-28-2610 ・島内に高校はなく、本土の高校へ通学しています。市では、通学支援事業を行っており、通学に要する費用の一部を補助しています。 |
| ⑥上下水道・電気・ガスの状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・島内の水道利用状況（普及率）は100%です。し尿処理は、約49%が水洗化、残りを計画収集にて対応しています。 ・ガスはプロパンです。島内の業者から購入できます。 ・電気は、本土側からの送電線により供給されています。 |
| ⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など） | <p>【航路】 フェリー 気仙沼市エースポート（最寄りの駅はJR大船渡線気仙沼駅。同駅からエースポートまでタクシーで約10分）から浦の浜港へ。 フェリーで浦の浜港まで約25分（1日16便）・大人片道410円。 ※フェリーに車を載せる場合には事前に予約することをお勧めします。 ●予約先：大島汽船㈱ 電話0226-23-3315</p> |
| ⑧島内の交通手段（費用、便数など） | <p>【路線バス】 <大島線>浦の浜港・新王平（島の南側）間 1日6～8便。 本土からのカーフェリーを利用すると、島内での移動が便利です。</p> |
| ⑨買い物場所・物価の状況 | <p>【買い物場所】 スーパー・商店など約5軒、レストラン・食堂が約10軒あります。 ※野菜などは自家用の畑で作っている方が多くいます。漁師と農家で、魚と野菜の物々交換などもよく行われており、近所の方と仲良くなると、野菜や魚などのお裾分けも多くなります。</p> |
| ⑩これまでの移住実績 | <p>これまでの実績は特に把握していませんが、開設した「気仙沼市移住・定住支援センター」において、移住者の把握を行う予定です。 http://www.minato-kesennuma.com/</p> |
| ⑪移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況 | <p>特に設けていません。</p> |

| | |
|-------------------------------|--|
| ⑫移住にあたっての支援の状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者に対する総合窓口として「気仙沼市移住・定住支援センター」を開設しています。 http://www.minato-kesenuma.com/ ・なお、大島および気仙沼市に対するご質問等がありましたら、下記窓口にお気軽にお問い合わせください。 気仙沼市震災復興・企画課震災復興・総合企画係 0226-22-3408 kikaku@kesenuma.miyagi.jp |
| ⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区の一斉清掃や寄り合いなどに積極的に参加し、自分から地域に溶け込む努力をすることが大切です。 |

【島のくらしの情報】

大島（おおしま）

| | |
|-----------------------|--|
| ①仕事（収入）の状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・島には、水産業をはじめとした第一次産業従事者と観光などのサービス業従事者が多くいます。また、多くの方が気仙沼本土側で仕事をしています。 |
| ②住居の状況（貸家、空き家など） | <ul style="list-style-type: none"> ・島内での貸家・空き家については、震災の影響で少ない状況です。 ・なお、気仙沼市では空き家バンクを開始し、「気仙沼市移住・定住支援センター」を通じて空き家情報を提供しています。 http://www.minato-kesenuma.com/ |
| ③医療環境の状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・島に診療所と歯科医院がそれぞれ1軒ずつあり、医師1人、看護師2人、歯科医師1人が常勤し、住民の健康を守っています。 ・急患は臨時輸送船などで本土の総合病院へ運んでいます。 ・妊産婦は、本土の病院での検診・出産が必要となります。 |
| ④福祉環境の状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険施設が2ヶ所あり、デイサービスや短期入所サービスを提供しています。 |
| ⑤教育環境の状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・大島小学校、大島中学校があります。 ●お問い合わせ：大島小学校 電話0226-28-2604 大島中学校 電話0226-28-2610 ・島内に高校はなく、本土の高校へ通学しています。市では、通学支援事業を行っており、通学に要する費用の一部を補助しています。 |
| ⑥上下水道・電気・ガスの状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・島内の水道利用状況（普及率）は100%です。し尿処理は、約49%が水洗化、残りを計画収集にて対応しています。 ・ガスはプロパンです。島内の業者から購入できます。 ・電気は、本土側からの送電線により供給されています。 |
| ⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など） | <p>【航路】 フェリー</p> <p>気仙沼市エースポート（最寄りの駅はJR大船渡線気仙沼駅。同駅からエースポートまでタクシーで約10分）から浦の浜港へ。フェリーで浦の浜港まで約25分（1日16便）・大人片道410円。 ※フェリーに車を載せる場合には事前に予約することをお勧めします。</p> <p>●予約先：大島汽船(株) 電話0226-23-3315</p> |

| | |
|-------------------------------|--|
| ⑧島内の交通手段（費用、便数など） | 【路線バス】 <大島線>浦の浜港・新王平（島の南側）間 1日6～8便。 本土からのカーフェリーを利用すると、島内での移動が便利です。 |
| ⑨買い物場所・物価の状況 | 【買い物場所】 スーパー・商店など約5軒、レストラン・食堂が約10軒あります。 ※野菜などは自家用の畑で作っている方が多くいます。漁師と農家で、魚と野菜の物々交換などもよく行われており、近所の方と仲良くなると、野菜や魚などのお裾分けも多くなります。 |
| ⑩これまでの移住実績 | これまでの実績は特に把握していませんが、開設した「気仙沼市移住・定住支援センター」において、移住者の把握を行う予定です。 http://www.minato-kesenuma.com/ |
| ⑪移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況 | 特に設けていません。 |
| ⑫移住にあたっての支援の状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者に対する総合窓口として「気仙沼市移住・定住支援センター」を開設しています。 http://www.minato-kesenuma.com/ ・なお、大島および気仙沼市に対するご質問等がありましたら、下記窓口にお気軽にお問い合わせください。 気仙沼市震災復興・企画課震災復興・総合企画係 0226-22-3408 kikaku@kesenuma.miyagi.jp |
| ⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区の一斉清掃や寄り合いなどに積極的に参加し、自分から地域に溶け込む努力をすることが大切です。 |

【島のくらしの情報】
江島（えのしま）

| | |
|------------------|--|
| ①仕事（収入）の状況 | 漁業従事者が大部分を占めています。 |
| ②住居の状況（貸家、空き家など） | 平成23年3月11日に発生した東日本大震災による地震の影響により、江島は全島避難期間が長く、傷んだ住居の多くが解体され、空き家はありません。 |
| ③医療環境の状況 | 医療・福祉・教育施設はありません。 |
| ④福祉環境の状況 | |
| ⑤教育環境の状況 | |
| ⑥上下水道・電気・ガスの状況 | 下水道のみ未整備です。 |

| | |
|-------------------------------|---|
| ⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など） | 【航路】高速船（離島航路） 宮城県女川港から江島へ 高速船しまなぎ（62 t）で片道30分（出島周りの場合は55分） 運賃大人片道 1,080円 1日3便運行しています。 |
| ⑧島内の交通手段（費用、便数など） | 公共交通はないため、自家用車両での移動となります。 |
| ⑨買い物場所・物価の状況 | 商店はないため、本土での調達となります。 |
| ⑩これまでの移住実績 | 下水道のみ未整備です。 |
| ⑪移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況 | ありません。 |
| ⑫移住にあたっての支援の状況 | 現在移住者はいません。 |
| ⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報 | 平成23年3月11日に発生した東日本大震災による地震の影響により、江島は全島避難期間が長く、傷んだ住居の多くが解体されています。 ライフラインは、全て復旧しましたが、現在も港の復旧工事等が行われており、女川町と住民が一丸となり震災からの早期復興を目指しております。 |

【島のくらしの情報】

出島（いずしま）

| | |
|------------------|---|
| ①仕事（収入）の状況 | 漁業従事者が大部分を占めています。 |
| ②住居の状況（貸家、空き家など） | 建物も壊滅的被害を受けており、公共施設、住居、診療所、郵便局、金融関係等の多くが全壊流出しており、空き家はありません。 |

| | |
|-------------------------------|--|
| ③医療環境の状況 | 医療・福祉・教育施設はありません。 |
| ④福祉環境の状況 | |
| ⑤教育環境の状況 | |
| ⑥上下水道・電気・ガスの状況 | 下水道のみ未整備です。 |
| ⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など） | <p>【航路】高速船（離島航路） 宮城県女川港から出島へ 高速船しまなぎ（62 t）で片道20分（江島周りの場合は55分） 運賃大人片道 770円 1日3便運行しています。</p> |
| ⑧島内の交通手段（費用、便数など） | 公共交通はないため、自家用車両での移動となります。 |
| ⑨買い物場所・物価の状況 | 商店はないため、本土での調達となります。 |
| ⑩これまでの移住実績 | ありません。 |
| ⑪移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況 | ありません。 |
| ⑫移住にあたっての支援の状況 | 現在移住者はいません。 |
| ⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報 | 平成23年3月11日に発生した東日本大震災による大津波の影響により、出島は壊滅的被害を受けました。ライフラインは全て復旧して災害公営等住宅も完成しましたが港や島内が未だ復旧工事が継続して行われています。 |

【島のくらしの情報】

田代島（たしろじま）

| | |
|-----------------------|---|
| ①仕事（収入）の状況 | — |
| ②住居の状況（貸家、空き家など） | — |
| ③医療環境の状況 | 市が診療所を運営し、本土の医師による週2日の診療体制をとっています。 また、夜間の救急患者の輸送に対応するため、ドクターヘリの運用が開始されました。 |
| ④福祉環境の状況 | 週に1度、パッカー車によるゴミの回収を行っています。 |
| ⑤教育環境の状況 | 島内に就学児童はおらず、教育施設もありません。 |
| ⑥上下水道・電気・ガスの状況 | — |
| ⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など） | 網地島ライン株式会社が運営するフェリーで石巻港から約45分。（1日3便） 鮎川港から約60分。（1日1便） |
| ⑧島内の交通手段（費用、便数など） | 島内にはバスなどの公共交通及びタクシーなどの交通手段はありません。 |
| ⑨買い物場所・物価の状況 | 島内には商店はほとんどないため、あらかじめ十分な準備をしておくことをお勧めします。 |
| ⑩これまでの移住実績 | — |

| | |
|-------------------------------|---|
| ⑪移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況 | — |
| ⑫移住にあたっての支援の状況 | — |
| ⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報 | — |

【島のくらしの情報】

網地島（あじじま）

| | |
|-----------------------|---|
| ①仕事（収入）の状況 | — |
| ②住居の状況（貸家、空き家など） | — |
| ③医療環境の状況 | 網小医院という廃校となった小学校を改修した病院に、デイサービスセンターや高齢者生活福祉センターが併設するなど、島に安心して滞在できる環境が整っています。離島における医療のモデルケースとして注目を集めています。 |
| ④福祉環境の状況 | 週に1度、パッカー車によるゴミの回収を行っています。 |
| ⑤教育環境の状況 | 島内に学校はありませんが、自然環境に恵まれた網地島での合宿生活を通じて、心身ともに健全な児童生徒を育てる事を目的として、廃校となった中学校の校舎を全面改装して平成14年に「島の楽校」を開設。学校や一般団体での学習や研修を目的とした活動に利用されています。 |
| ⑥上下水道・電気・ガスの状況 | — |
| ⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など） | 網地島ライン株式会社が運営するフェリーで石巻港から約60分。（1日3便） 鮎川港から約20-30分。（1日3-4便） |

| | |
|--------------------------------------|---|
| <p>⑧島内の交通手段（費用、便数など）</p> | <p>【島内交通】 バス 島内を縦貫する長渡地区～網地地区～長渡地区の往復経路で所要時間50分程度、1日4便走行しています。 ※タクシー会社はありません。</p> |
| <p>⑨買い物場所・物価の状況</p> | <p>島内には商店はほとんどないため、あらかじめ十分な準備をしておくことをお勧めします。</p> |
| <p>⑩これまでの移住実績</p> | <p>—</p> |
| <p>⑪移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p> | <p>—</p> |
| <p>⑫移住にあたっての支援の状況</p> | <p>—</p> |
| <p>⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報</p> | <p>—</p> |